

第 5 期宇治市生涯学習審議会 第 6 回審議会

会議名	第 5 期宇治市生涯学習審議会 第 6 回審議会
日時	平成 24 年 4 月 20 日（金）午後 3 時から午後 4 時半
場所	宇治市生涯学習センター 一般研修室
出席者	<p>（委員）</p> <p>森川 知史委員長、門脇 洋子 委員長職務代理、迫 きよみ 委員、杉本 厚夫 委員、向山 ひろ子 委員、弓指 義弘 委員、石田 光春 委員、坂田 耕作 委員、清水 桂子 委員、原 保彦 委員、吉田 隆 委員、六嶋 由美子 委員、桑原 千幸 委員</p>
	<p>（事務局）</p> <p>藤原 千鶴 教育部次長兼生涯学習課長兼生涯学習センター所長、山下 一也 教育改革推進室長兼教育指導課長、北岡 和昌 中央図書館長、瀬野 克幸 総括指導主事、安達 昌子 生涯学習課主幹、久泉 昭人 生涯学習課主幹、西村 比口支 生涯スポーツ係長、谷 泰明 生涯学習課事業係長、前田 紘子 生涯学習課生涯学習係長、西田 知世 生涯学習課主事、佐野 雅俊 生涯学習課主事</p>
	<p>（傍聴者）</p> <p>なし</p>
<p>前回の会議録について、一部修正があった。 会議録 7 ページ 14 行目 × 訂正前：「<u>西京区</u>に行って啓発活動をしている。」 訂正後：「<u>西京極のスタジアム</u>に行って啓発活動をしている。」</p> <p>（ 1 ） 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 24 年度宇治市教育委員会の体制について （事務局） 小中一貫教育課の一貫校開校準備係については、平成 24 年度より「宇治黄檗学園（宇治小学校・黄檗中学校）」が開校したため、廃止となった。 平成 23 年度まで、河原青少年センターの館長がコミュニティワークこはた館の館長を併任していたが、今年度より専任の館長となった。 	

・ 小中一貫教育について

(事務局)

平成 24 年 4 月より全ての市立小中学校で小中一貫教育を全面実施した。4 月 1 日に開校した「宇治黄檗学園」は愛称であり、宇治小学校と黄檗中学校を総称してこう呼んでいる。

本市においては、約 10 年前(平成 13 年度から)小学校と中学校が互いに連携していく小中連携教育の研究をはじめた。その後、様々な委員会や検討会等を重ね、今後の本市の教育全般について検討し、平成 19 年度に宇治市の小中一貫教育と学校規模の適正化の方向を示す「NEXUS プラン」と「第一次 NEXUS プラン実施方針」を発表し、その中で平成 24 年度から全ての市立小中学校で小中一貫教育を全面実施すること、施設一体型の小中一貫校を開校することなどを示した。この間、小中一貫教育の研究指定校を中心に、全ての市立小中学校で試行実施を行った。

本市が進める小中一貫教育は、全ての市立小中学校が小中一貫校か小中一貫教育校のいずれかの形態をとっている。

この 4 月に開校した「宇治黄檗学園」は、組織、運営を一体化した形態で、これを本市では小中一貫校と呼んでいる。その他の小中学校は、9 つの中学校ブロックに分け、ブロックごとに教育目標や目指す子ども像を一元化し、あたかも 1 つの学校のような形で機能する形態をとっており、これを小中一貫教育校と呼んでいる。

京都府内(京都市を除く)では初めての施設一体型の小中一貫校であり、市内の 10 番目の中学校として開校した黄檗中学校と、創立 140 周年を迎える宇治小学校が施設、組織や運営を一体化し、小中一貫教育校のパイロット的な役割を果たしている。

今年度は、小学校 1 年生から中学校 1 年生(黄檗中学校では 7 年生と呼称)までの子どもみの在籍だが、2 年後の平成 26 年度には小学校 1 年生から中学校 3 年生の全ての学年が揃う形となる。

開校にあたっては、地域の方々のお借りしている。中でも平成 22 年 7 月には宇治黄檗学園開校に向けた準備事項についての情報・意見の聴取を目的とした「開校準備に係る地域委員会」を設置し、委員を公募した。保護者 18 名と地域関係者 13 名を委員として迎え、会議を行った。

月 1 回の会議では、学校が示した教育目標や学校行事等、宇治黄檗学園として運営していく上で必要な案件について、様々な貴重なご意見をいただき、学校運営の基盤づくりに参画していただいた。小学生はもとより、中学生も時期に応じて地域行事に参加するなど、地域の方々との連携を進めていく取組みを行う予定である。地域・保護者の方々のご理解・ご協力をいただきながら子ども達の学力向上を図るとともに、豊かな心を育む小中一貫教育の実現に向けて、地域や学校の特色を生かしてまいりたい。今後とも委員の皆様のご支援をお願いする。

・子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）について

（事務局）

平成 24 年 3 月に、「宇治市子ども読書活動推進計画（第二次推進計画）」を策定した。本計画に基づき、子どもの読書活動の更なる推進を図ってまいるので、委員の皆様には引き続きご協力いただきたい。

なお、以前の審議会でも報告させていただいたが、本計画は、平成 19 年 3 月に策定した第一次計画に引き続き策定したものである。計画期間は平成 24 年度から 33 年度までの概ね 10 年間としているが、社会環境の変化等に応じて、計画の中間見直しを行う。概要版の「4.子どもの読書活動推進体制」に述べているとおり、本計画の各種施策の推進にあたっては、適宜、本審議会に報告し、ご意見等をいただきたいと思っているので、今後ともお願いしたい。

・宇治市図書館と京都文教大学図書館・京都文教短期大学図書館の連携協力について

事務局より、下記の内容について説明した。

（事務局）

地域の学術・教育・文化の発展及び図書館サービスの向上に寄与することを目的として、平成 24 年 3 月 27 日に、宇治市と京都文教大学・短期大学図書館が連携協力を行うことについて覚書の調印を行った。

次の 3 点について、宇治市、京都文教大学・短期大学の図書館間で連携・協力を行う。

（1）大学図書館並びに短期大学図書館の入館手続きが簡略化される。

宇治市図書館の貸出券の提示があれば、免許証などの本人確認書類の提示が不要になる。

大学図書館・短期大学図書館が所蔵する図書や雑誌、新聞などが無料で閲覧できる。なお、原則 18 歳以上の人ができる。

（2）各図書館が所蔵する資料を、相互に貸し借りできるようになる。

大学図書館や短期大学図書館が所蔵する図書・資料を、市図書館に取り寄せ、無料で閲覧できる。ただし、館外への持ち出しはできない。

（3）大学図書館に、宇治市図書館の予約図書配本所になっていただく。

予約した図書を、文教大学図書館で受取・返却することができる。

短期大学図書館では、このサービスは行っていない。

これらの連携協力は平成 24 年 4 月 24 日（火）から開始する予定である。

京都文教大学図書館・京都文教短期大学図書館の蔵書構成について（充

第5期宇治市生涯学習審議会 第6回審議会

実しているジャンル)

大学図書館... 社会学、文化人類学、心理学、精神医学及びその周辺領域など

短期大学図書館... 健康科学・栄養学、教育、保育、福祉、仏教学及びその周辺領域など

大学図書館・短期大学図書館の蔵書数について

(いずれも2011年3月31日時点)

場所	蔵書冊数
大学図書館	137,387 冊
短大図書館	117,563 冊
合計	254,950 冊

参考 宇治市図書館の蔵書数 306,751 冊

大学図書館・短期大学図書館の連携による市民利用時間等について

		大学図書館	短大図書館
授業期間	月曜日～金曜日	9:00～17:00	9:00～17:00
	土曜日	9:00～17:00	休館
休業期間	月曜日～金曜日	9:00～17:00	9:00～17:00
	土曜日	休館	休館
休館日	学務行事がない日曜日・祝日、大学が特に指定する日、長期休暇中の一定期間、蔵書点検期間、業務整備日、臨時休館日等		
休暇中の開館日・開館時間はその都度変更になります。			

予約図書の受取・返却は、9:30～16:30(正午～13:00除く)である。

大学図書館・短期大学図書館へのアクセス

正門受付で入構手続きを済ませてください

- ・ 自転車・バイク = 大学・短期大学指定の駐輪場へ
- ・ 自動車 = ベルファ宇治の駐車場へ(午前10時から利用可能)
- ・ 電車 = 近鉄向島駅からスクールバスが利用できる(無料)

その他参考

平成23年10月より、京都文教大学図書館では、所蔵する資料の有料貸

第5期宇治市生涯学習審議会 第6回審議会

出サービスを行っている。

年間利用登録料：2,000円

貸出冊数：5冊まで 貸出期間：2週間以内

短期大学図書館は、このサービスは行っていない。

(委員)

貸出券について、近隣の他市町の状況は分からないが、宇治市では貸出券の更新は行っているのか？券を紛失された方や亡くなった方もいらっしゃると思うので、可能であれば更新について検討していただきたい。

(事務局)

住民基本台帳等とは連携していないので、情報を検索してデータを自動的に削除することはできないが、基本的なお願いとして転出や死亡の場合は、本人若しくは家族から申し出をいただいてご返却いただいている。

・市政モニターアンケートについて

平成23年12月の審議会にてアンケート項目について、審議していただいた内容を反映し、平成24年1月6日から20日の期間において、市政モニターアンケートを実施した。

(委員)

このアンケートをとおして施策にどう反映するか？概要しか聞いていないので、これだけのデータだと何も言えない。

問2「現在行っている生涯学習の内容」と、問3「現在行っている生涯学習の方法」は複数回答か？

(事務局)

それぞれ複数回答である。

(委員)

複数回答に関して、生涯学習を行っている方は、他にも様々なことをされているので、重複率を出していただきたい。

問4「現在行っている生涯学習の目的」の結果は、問2「現在行っている生涯学習の内容」と関係している。この活動をしている人はこういった目的をもって活動しているなど、活動と目的は互いに関係しているので、これらをリンクして考える必要がある。

また、このアンケートは男女に分けているが、男女に分ける意味がないので、最近では分けない傾向がある。それよりも、年齢で分けた方がよい。それにより年齢によって何を望んでいるかを把握でき、ターゲットを意識した施策が展開できる。

第5期宇治市生涯学習審議会 第6回審議会

(事務局)

今回のアンケートは、純粹に結果のみをお伝えさせていただいた。今回いただいたご意見を参考にさせていただく。

(委員)

問13「市の生涯学習施策に満足しているか」については、回答に中間値を入れてはいけない。生涯学習に関する施策を知らない方は、「どちらとも言えない」を選んでしまう。知らない中でも判断してもらい、何が判別の要因になっているかを明らかにすると、今後の施策の参考になるだろう。

(2) 協議事項

・ 第7回～第12回審議会の進め方について(生涯学習関連施設の視察等)

(事務局)

第7回から第12回の進め方について、事務局からご提案させていただく。

前回の委員会までにも話の中で出ていたかと思うが、「生涯学習関連施設の視察」について説明させていただく。

現在、本審議会は生涯学習センターを会場として実施しているが、市内にはいろいろな生涯学習関連施設がある。市の施設として公民館が5か所、図書館が3か所、青少年センターが3か所、体育館が2か所、また、総合野外活動センター、源氏物語ミュージアム、ゆめりあうじ、歴史資料館、植物公園がある。

第7回から第12回までの6回は、市民の方が生涯学習で利用される場所を視察していただき、その場所で会議をもちたいと考えているが、どうか？

場所の選定について、ご意見をいただきたい。

例えば、委員さんの中でぜひ他の委員さんにも知っていただきたい、逆に興味はあるが利用する機会がないので、一度行ってみたいなど、そこで開催したい理由もお聞かせいただければありがたい。ご協議よろしく願います。

(委員)

エアコンが設置されていない施設としては珍しいと思うので、黄檗体育館と西宇治体育館を見学していただきたい。

(事務局)

今回、子どもの読書活動推進計画(第二次推進計画)が策定されたところなので、図書館を候補地の一つとして検討いただきたい。

第 5 期宇治市生涯学習審議会 第 6 回審議会

(委員)

宇治市総合野外活動センター「アクトパル宇治」について、施設等については部分的にしか知らないのので、一日使って施設を見学してみたい。

(委員)

公共施設しか見学できないのか？

(事務局)

市の施策に関することなので、できれば公共施設でお願いしたいが、色々ご意見をお聞きできればと思っている。

(委員)

1 つは、民間として子育て広場を行っているのので、「NPO 法人子育てを楽しむ会」を見学していただきたい。もう 1 つは、炭山にある現代手づくり玩具館を見学してみたい。

(3) その他

(事務局)

今年度、委員の皆様に出席していただく事業について説明させていただきます。

京都府

事業名	期日	場所
京都府社会教育連絡協議会総会	6 月 15 日 (金)	与謝野町野田川ワークパル
京都府社会教育研究大会	11 月 16 日 (金)	木津川市加茂あじさいホール

近畿

事業名	期日	場所
近畿地区社会教育研究大会	9 月 7 日 (金)	神戸ポートピアホテル

全国

事業名	期日	場所
全国社会教育研究大会	10 月 24 日 (水) から 26 日 (金)	山梨県甲府市総合市民会館

生涯学習審議会以外では、8 月 24 日 (金)、25 日 (土) に日本 PTA 全国研究大会が開催され、24 日 (金) は宇治市を第 1 分科会場として分科会が開かれる。

第 5 期宇治市生涯学習審議会 第 6 回審議会

(事務局)

スポーツ関係で数点報告させていただく。

「宇治市スポーツ振興計画」において、総合型地域スポーツクラブの充実・拡大が挙げられているが、この度、京都文教大学でも開放型(総合型)地域スポーツクラブが開設された。既存の総合型地域スポーツクラブをはじめとする体育関係団体など、人的な交流の面などにおいてサポートしてまいりたい。

本市は平成 22 年 8 月に京都パープルサンガのホームタウンの一つになっている。

これまでも市民スポーツまつり・太陽が丘スポーツカーニバル等で市教委と協働してきたが、ホームタウンの一つとなった以降は更に広く・深く協働の取組を進めている。

その取組の一つとして、去る平成 24 年 2 月 25 日に宇治サッカー協会の協力も得て、サンガタウン城陽の人工芝にて「親子サッカー教室」を開催し、小雨の中、20 組 45 人が参加され、好評を得ることができた。

今後も、宇治市スポーツ振興計画を推進していく上で重要な社会資源と位置づけられる京都パープルサンガ F.C.と協働の取組をより一層進めてまいりたい。

(委員)

京都文教大学の開放型(総合型)地域スポーツクラブの対象は子ども向けか？

(事務局)

現在は、女子サッカーの教室を開催しており、これを基本として今後拡大していくと聞いている。

(委員)

東宇治総合型地域スポーツクラブの対象は子ども向けか？

(事務局)

子どもも大人も対象としている。

【次回の会議】

平成 24 年 6 月 13 日(水) 15:00 ~ 場所：中央図書館

以上